

東京都内保証利用先企業 金融動向調査

平成23年4月～6月期

● 調査依頼5,212社 ● 有効回答企業数1,228社

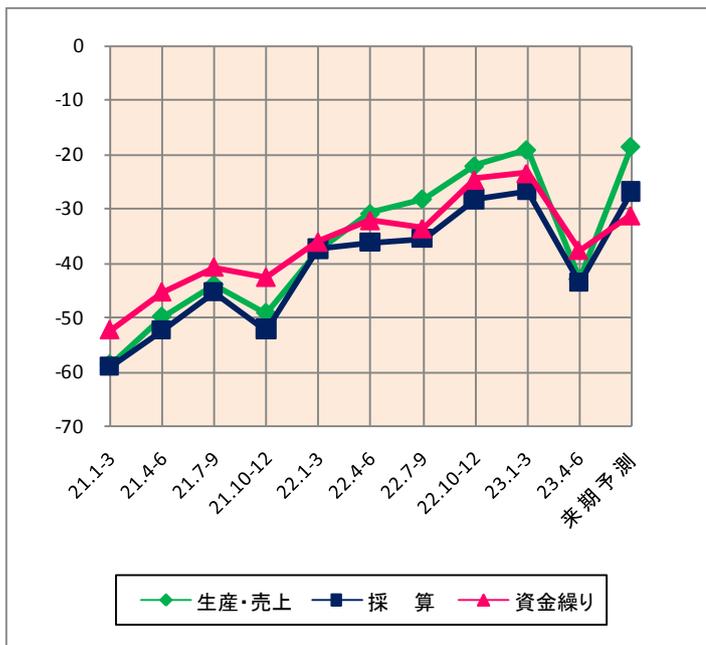
信用保証をご利用いただいている皆様の景況・金融動向を把握する為に、国の機関である日本政策金融公庫と共同で「保証先中小企業金融動向調査」を四半期ごとに実施しております。ここでは東京都内保証利用先企業の平成23年4～6月期の調査結果についてお知らせ致します。

景気動向指数DIとは

景気動向指数DIは、「好転した企業の割合」から「悪化した企業の割合」を引いて算出するもので、「好転」傾向と「悪化」傾向のどちらが強いのか、いわば綱引きをして景気動向を判断する指数です。また、このデータは「季節修正値」を利用しています。この季節修正値は、季節商品等の影響などの季節的な要因を取り除いた景気動向を判断するための数値です。

概況 すべての項目で悪化、資金繰り環境は慎重な見通し

【「生産・売上」「採算」「資金繰り」総合値グラフ】



◎総合

今期(平成23年4月～6月期)調査による景気動向指数(総合値)は、「生産・売上」が前期比-23.9ポイントの▲43.0、「採算」が前期比-16.8ポイントの▲43.4、「資金繰り」が前期比-14.2ポイントの▲37.6とすべての項目で大幅に悪化した(左グラフ参照)。

項目別で見ると、今期実績では「生産・売上」が平均-23.9ポイントと最もマイナス幅が大きい(次ページ以降のグラフ参照)。

今後3ヵ月の見通し(来期予測)では、震災復興の期待からか全ての項目で改善の見通し。

なかでも今期最も悪化した「生産・売上」の総合値が今期実績比+24.5ポイントと回復の見通しを立てている。(左グラフ参照)

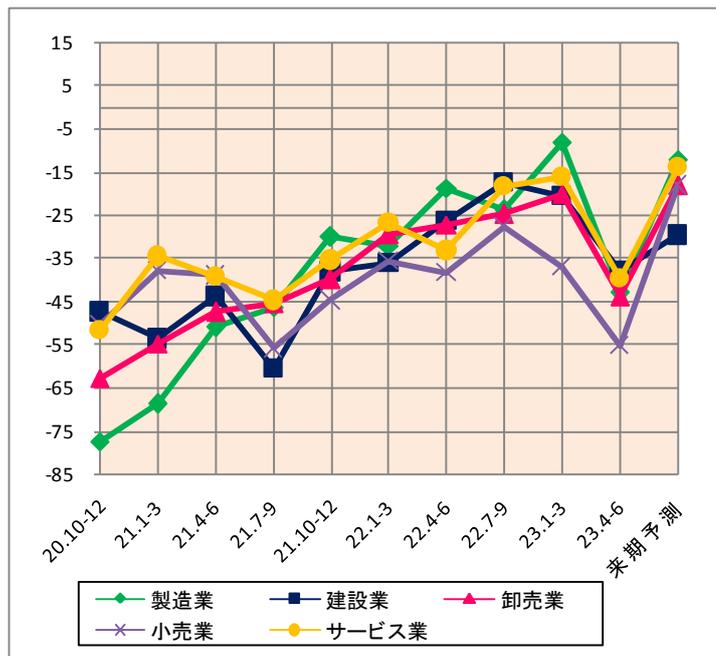
「生産・売上」「採算」「資金繰り」実績・予測値(総合)

| | 生産・売上 | 採算 | 資金繰り |
|-------|-------|-------|-------|
| 前期末予測 | -8.2 | -18.1 | -26.5 |
| 今期実績 | -43.0 | -43.4 | -37.6 |
| 来期予測 | -18.5 | -26.7 | -31.2 |

◆次ページ以降、「生産・売上」「採算」「資金繰り」の項目別解説となっています。

生産・売上

【業種別「生産・売上」グラフ】



今期の生産・売上DIは、総合で▲43.0（前期比-23.9ポイント）と全項目の中で最も悪化幅が大きい結果となった。

業種別では、製造業が▲42.9（前期比-35.0ポイント）と最も悪化し、その他すべての業種でも前期比-17.5ポイント以上の悪化となっており、円高や震災の影響が色濃く出ていることが窺える。

来期予測ではすべての業種で回復を見込んでおり、なかでも小売業は今期実績比+37.0ポイントと大幅な回復の見通しを立てている。

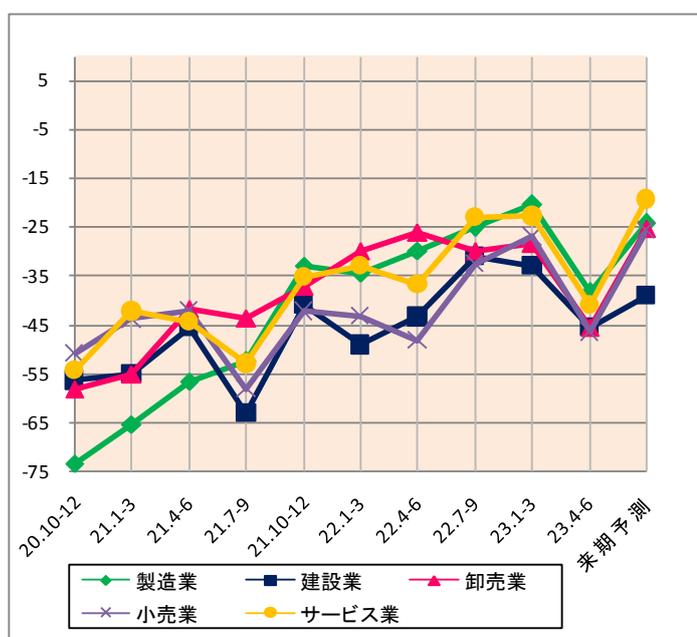
一方、建設業は今期実績比+8.3ポイントの回復と慎重な見通しとなった。

業種別「生産・売上」実績・予測値

| | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | サービス業 | 総合 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 前期末予測 | -5.7 | -12.8 | -0.9 | -34.8 | -1.7 | -8.2 |
| 今期実績 | -42.9 | -37.8 | -43.7 | -55.0 | -39.5 | -43.0 |
| 来期予測 | -11.8 | -29.5 | -17.9 | -18.0 | -13.6 | -18.5 |

採算

【業種別「採算」グラフ】



今期の採算DIは総合で▲43.4（前期比-16.8ポイント）と6期振りに悪化へと転じた。

業種別では、建設業が▲45.6（前期比-12.7ポイント）と唯一、連続での悪化となった。

そのほかの製造業は前期比-18.0ポイントで3期振りの悪化、小売業、サービス業はそれぞれ前期比-19.5ポイント、-18.3ポイントと2期振りに悪化へと転じた。

来期は総合で▲26.7（今期実績比+16.7ポイント）と回復の見通し。

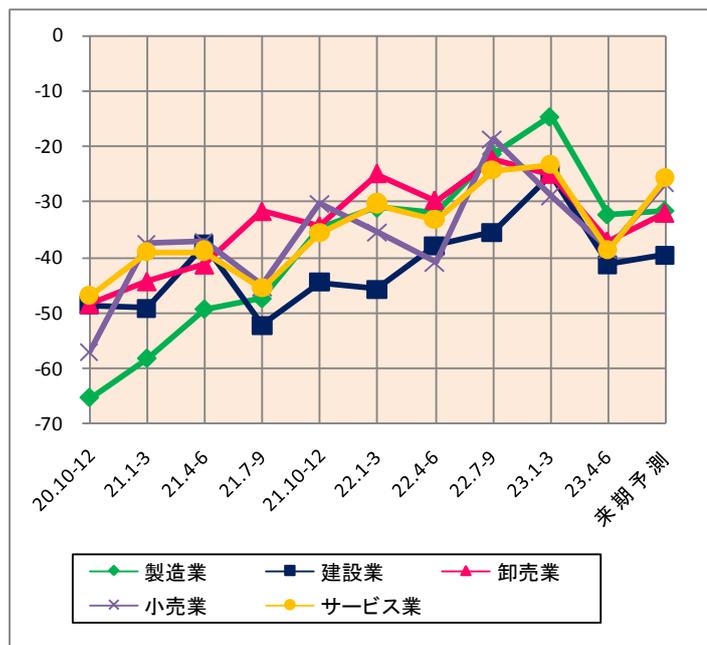
業種別では建設業が最も低く今期実績比+6.6ポイントを予測し、サービス業は今期実績比+21.7ポイントと最も高い予測を立てている。

業種別「採算」実績・予測値

| | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | サービス業 | 総合 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 前期末予測 | -16.2 | -21.1 | -16.9 | -33.0 | -10.5 | -18.1 |
| 今期実績 | -38.4 | -45.6 | -45.4 | -46.4 | -41.0 | -43.4 |
| 来期予測 | -24.3 | -39.0 | -25.3 | -25.6 | -19.3 | -26.7 |

資金繰り

【業種別「資金繰り」グラフ】



今期の資金繰りDIは、総合で▲37.6（前期比-14.2ポイント）と悪化した。

業種別では卸売業、小売業がそれぞれ前期比-12.0ポイント、-9.5ポイントと2期連続で悪化し、製造業、サービス業ではそれぞれ前期比-17.7ポイント、-15.3ポイントと3期振りに悪化、建設業では前期比-16.2ポイントと4期振りに悪化へと転じ、すべての業種が悪化した。

来期予測は総合で▲31.2（今期実績比+6.4ポイント）と改善の見込みであるが、他項目と比べ総合値の回復幅が小さいことから先行きに慎重な見方をしていることが窺える。

業種別「資金繰り」実績・予測値

| | 製造業 | 建設業 | 卸売業 | 小売業 | サービス業 | 総合 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 前期末予測 | -27.2 | -26.2 | -23.8 | -33.8 | -26.3 | -26.5 |
| 今期実績 | -32.2 | -41.2 | -36.9 | -38.4 | -38.7 | -37.6 |
| 来期予測 | -31.5 | -39.5 | -31.9 | -26.5 | -25.8 | -31.2 |